京城新報

特別廣告

漢城より

北韓山生

▲北米桑港を中心として各地に散在せる韓人等は日韓合併反對會を組織し米人の助力を藉らんとすと傳へらる、無論何の役に立つものでも無く別に氣を乘ねるにも及ばねども、小五月蠅き行動は聊か癪に障る事共に候はずや。

▲安奉線開通の曉には、今の京城、巴里間二週日の旅程は若干短縮せらるべく、殊に現在の安奉線の危險なるに閉ぢ悵ちたるものも亦此の途を取るが多かるべく、日本滿洲の交通上、一新紀元を劃することゝ相成る儀に付き鐵道院に於ては關釜聯絡設備を完全にせんが爲め百万圓を投じて下ノ關に棧橋を架し尙鐵道院にては百五十萬圓を以て二千五百噸内外の汽船二隻を建造し聯絡船に充つべく、總ては明後年、安奉線開通期迄に完成する都合なるやに御座候、斯くてなほもじながら世界の公道と申す都合のものなりと聞及び候、而して其頭にも成らば、詮議中なる勞働鐵車も運轉の運びに相成るべく、韓鐵万歲、人は長命せでは良き日に遇はれぬものと合點致す候。

▲先頃滿韓を視察して歸へりたる水野内務參事官は滿韓の行政は不統一にあらざるも、其錯雜せるは事實也、併し其の錯雜せる間には内地行政當局者の參考と爲すに足るべき頗ぶる發達せるものありとて、其の例として、韓國居留民團の實力あり、活氣あり、且民團議員の撰擧には爭へども撰擧後は黨派心を捨て平和に民團の發達に努めつゝありと云へる由に候。

▲吾輩は此の例を否認し能はず、然れども之れを是認するには余りに知ることの多くして自ら忸怩たらざるを得ず候、一番八百長で出離くるの存念を諒せられ度讀者に懇請致し候。(十一日)

滿洲大豆の前途

▲大豆輸出の割合 滿洲に於ける昨年の大豆產額は最近に至りて六百五十萬石と決定したるが之を前年の八百萬石に比すれば約二割の減少を示す前年來滿洲大豆の輸出は一轉して歐洲に向ふに至り從來日本六分南淸四分の割合を出て輸出したるものは日本四分歐米四分南淸二分の割合となり其形勢に一變革を來せり而して昨冬以來大連埠頭の二港より歐洲に輸出したる大豆額は四十萬噸にして今後向引續き輸出さるべきもの五萬噸あり之を合して本期の大豆歐洲輸出高は四十五萬噸となる豫定なり

▲滿洲大豆の世界的位置 歐洲に於ける大豆の需要は之をビンオイルとして今後一層發展すべき望あれども本期偶々滿洲大豆の大需要を喚起したるは昨年米國に於ける棉花收穫高約三百万俵の收穫減を示したるより隨て棉實油の搾取高百三十萬噸減作を呈したる結果其供給不足を補はんが爲にして其數量の上より見れば現在の滿洲大豆は未だ極めて微々たるものなり

▲大豆と農業 歐米に於ける植物性油の需要の大部分は棉實油にして大豆油麻實油の如きは僅に之を補足する說中麻實油の如きは亞爾然丁印度兩國を合して漸く滿洲大豆に拮抗するの現狀なりされば近年石鹼香油其他原料として需要さるゝ植物性油は年と共に增加の勢を示し夫の驚くべき巨額の產出ある棉實油と雖も到底之が供給を充たす能はざるのみならず其品質は勿論搾粕もまた家畜の食料として遠く大豆粕に及ばざるものあり隨て滿洲大豆の前途は殆ど際限なく發展を呈すべき望ありと雖も滿洲に於ける農業の現狀は之を伴ふて發展すべき望甚だ薄きの感あり目下南滿に於ては我都督府鐵嶺奉天に於ては南滿鐵道主となりて幾分滿洲大豆の奬勵法を講せざるにあらざれど肝腎の淸國政府は頗る產業開發に冷淡にして地方農政の如き更に意に介せざるの狀況なり殊に滿洲大豆の殖產に就て最も困難を感ずるは永住の移民少なきこと及一般農民の集約的耕耘に意を勞せざることと是れにして年々多數の山東移民ありと雖も此等の大半は何れも一時的出稼民に屬し專ら一時的勞役に服するを喜び永住的の農業の如きは委して顧みざるの實況に在り折角開發したる滿洲大豆も淸國の實狀否の如くんば今後著しき發展は容易に之を望み難かるべしと云ふ

▲肥へた人間の六德

一、體内の燃燒は精力の根原であるが、其燃料として長く持續はしないが、最も有効で容易に利用さるゝものは脂肪である。されば脂肪が多量に存在して居て、主として燃料となれば他の物質は消耗されずに濟み、殊に蛋白質は酸化に依りて破壞さるゝ事を免れる。

二、又脂肪は何時にても引出す事の出來る、便利な精力の貯藏所で饑餓などの場合に役に立つ事は餓死の前にはいゝいゝいゝいゝ九割の脂肪が消費されて居るのを見ても分明る。

三、打撲寒冷等に對して身體を保護する用もする肥滿して居る小兒は高所より墜落するも、安全で又毆打された時も、瘦た者のやうに傷を蒙らない。

四、寒冷に對しては厚い毛皮の下着を被て居ると同樣の効力がある。

五、單に生理學上からばかりでなく美學上からでも脂肪は、醜美の別るゝ源で脂肪が結合筋肉に沿ふて秩序よく分配されて居れば美しき肉體となり、然らざれば醜き肉體となる。

六、肥滿して居る者は樂天家である銀行に貯金を澤山有して居る者が樂天家なるに類似して居る、何時でも入用の時に引出す事の出來る精力の源なる脂肪が、多量に貯へられて居るので、其れが精力にも影響する譯であらう。

忠淸北道の宗教

同地方人民は一般に宗教には冷淡にて耶蘇教も西韓の如き好成績を收むる能はず微弱のものなるが今同道に於ける儒佛耶教の概況は左の如し

●儒教● 深く風習の上に痕跡を止め今尙多少の社會的勢力を存ず各郡必らず文廟あり鄕校あり之に屬する財產あり所謂儒生と稱する一族は此文廟鄕校及び財產を中心として團結す其團結力は儒教の頹敗と共に崩壞し廟堂の破壞財產の減少と共に墮落したるも尙鄕々に勢力あり儒生の總數は家族共一萬五千十五人あり

●佛教● 今や只僧侶の爲めに存するのみ風俗習慣上多少の印影認むべきあるも社會に於ける勢力は絕無なり忠北には江原道の金剛山、平北の妙光山慶尙の通度寺と並稱されたる淨刹俗離山大法住寺あり其所管に屬する末寺四十一あり僧尼の類も合計百四十三人を算すも社會は彼等を目して非人と同一視し僧侶は只世外にありて寺佛を保管するのみ然れども寺領財產の消滅及僧侶の離散を拒く習慣法は今尙殘存し所謂影僧田、佛養田に關する規則は略ぼ實行されつゝあり

●耶蘇教● 本道に於ける傳導起源は明確ならざるも天主教は金君吉より入込み居る如く丹陽郡には開國三百十年に開始されたりと云へり古きだけに多少根據ある如きも其勢力大ならず現今尤も熱心に布教し勢力あるは長老派なり

●南大門驛旅客近況

南大門驛六月中乘降客員は降二二八七七〇人乘二〇七八九人收入は三六九七六圓にして昨年の同期三九八六八圓に比し大なる遜色あり尙は昨年四月以降六月迄と本年同期間を對照するに昨年は降客八九三七四人乘客同七一八六二人なるに本年は同降七八七七〇人乘七〇七九二人收入は昨二三一二五六圓に比し本年は一二八五一一圓なり併し七月中は未だ決算の日に達せざれども憲兵巡査の送迎より時節柄學生の出入頻繁の爲め多少の增加を見るべしと雖も是等は財界とは殆ど沒交涉の現象にして要は年一年と減退の傾あるは爭べからざる事實なりとは同驛員の語る處なり

●韓學齡兒童の貯蓄

播光化門郵便局長談

我光化門郵便局は韓人側に於て韓人郵便局京城郵便局を日本人郵便局と稱するが如く韓人側郵便振は殆ど我局專門の觀あり是に就き昨年春末より貯金奬勵に着手したるが何分韓人は郵便貯金の利を知らず反りて疑惧するの傾きありしも種々勸誘の結果昨年六月内に於て學齡兒童の切手貯金口數一〇七八金額二十六圓三十錢に上りしも是は一時の好奇に驅られし爲か間もなく續々引出す者多かりしも其間漸く確實なるを認知するに至りしと同時次回は眞面目なる預金をなすに至り既に本年六月中は新預入一五五口金員三十二圓十錢を算するに至れり其預金帳の如きも昨年八月頃は十日間に僅々四五冊を出に止まりしも昨今は一日間に寡きも十冊多きは十四五冊に上るを通例とせり要するに昨秋以來の趨勢に照せば來年の今季ともならば頗る盛況を見るならん見當以外の貯金も漸次好況に向ひつゝあるが女子の漸加するは大に注意すべき事なり元來婦女の成年者は名の無きを常とせるに預金の必要より俄に名命せり然かも文字の排列は從前の韓國式によらず多くは梅子松子の如き日本流を學ぶに至りては經世家の一顧に値すべし貯金奬勵の一法として本年五月無數勸誘的の小冊を配布したるが相當の效果ありしが如し目下規約的貯金として命洞普通學校の一校に止まれども追々擴張の積りなり云々

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十三錢
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久野太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

講談 大岡政談 越後傳吉

第二十一回 旭堂南陵講

四『約めて云ば細く長く金子を費ふて戴くのが望だ、後日其人の身の立行ぬやうな、そんな無法なことをするのが女郎屋の趣意ではございません、三浦屋四郎左衛門は傳吉のすることは誠に女郎屋の趣意に適ふた結構なこと、好い者が來てくれたと大きに悅んで居るくらゐだ、併しれ前方がさういふ人間の道を外れたことを言ひなさるんだつたらそんな人は能う使ふて居りません傳吉一人で乃公の家は家業をするれ前方は人間外、人外だ人外を大勢集めて家業は能うしません、終ひにこの三浦屋の家に草が生へて、れ前方のために三浦屋の家が亡れます、サア斷然に乃公から暇を出しますから、一同歸つてれくれ、その代りに言ひ渡して、置くぞ、乃公の方から殘らず暇は遣る代り外の廓は知らないがこの吉原五丁町におやア屋はないからその積りで一同出て行つてれくれ」一同「へーエ」驚いた一同の者、顏と顏とを見合つて 〇「オイ〳〵、源さんれ前の話だけれども、何だせこの吉原で稼がれねい日にやア仕樣がねわちやアないか」源「だからサ斯ういふことになるたア思はねい……」五「エ、旦那、何んですか傳吉一人で、アゝ結構だよ、正直一圖の傳吉一人で深山家業になります決してれ前達の厄介にやアなりませぬから何うぞ御圖々く〳〵して居ないで出て行とくれ、れ前方のやうな人の息子を殺してまでも儲ける人間は嫌だから、見るのも汚らはしい、早々立退いとくれ、安兵衞どんこの者等を追つ拂つてれ呉れ、汚らはしい、鹽花でも振つてれくれ背後から」安「へイ〳〵、成程 四『何を言つても聽かない、追つ拂つてれくれ』安『ちやア れ前方、旦那があんなに言つて居らつしやるから、何うか出て行つてれくれ』傳吉はこれを聽いて沈として居られない 傳『旦那樣……』四『傳吉、れ前構合い、口を出してくれるな、斯んな人間は金にも錢にも替へられない、如何いふ者がこの三浦屋に居ると、乃公の家は亡れ、その根は子孫の代まで祟る』四郎左衛門も大膽の旦那、一旦斯うといひ出した以上は後へ退かない、到頭殘らず追つ拂つたサア追ッ拂はれた一同は三浦屋の家から聲掛りになつて見ると五丁町では成程使はれない、使はれなかつたら家業にならない、是等は廓で稼いでた人の懷中を覘つて錢を儲けて暮した癖が附いて居りますから天秤棒を擔いで稼ぐことの出來る人間ぢやアない、一同が詰らないことをしたと此度は總寄合をしてワイ〳〵騷ぎ始める 源『仕方がねい、もう一度謝つて使つて貰はう、誰か此樣ことをいひ出したんだね』〇『源さん、乃公等ばかりちやアない、れ前もウンといつたぢやアないか何しろ飛んでもねいことになつたこれから、仲之町の山口を賴んで詫びて貰はう、仲之町の山口巴へ賴つて來たから巴屋の主人も仕方がない、早速仕度をして三浦屋へやつて參りこの事を話すと、四郎左衛門も頗る全く改心をしたといふことなら伴れて來て下さいとの挨拶、一同また出戻り夕方にゾロ〳〵皆歸つて來て〇『へイ、何も誠に相濟みません、能く分りましてございますこれから、私共二階を總りまして、二日も流連をする客がありましたら悉く異見をいたします、御異見番の見習ひをいたします 四『安兵衞どん』安『へイ』四『サアこれを好機にいたしませう、れ前さんも最う追々年を老て來るし、さう〳〵れ前にばかり店を委しても置けません、兼てれ前に話をしてゐた通り、相當の機があつたら屋號を分けたいと思ふて居たが、幸ひ私が話込んである店があつて、それが小格子だけれど能く流行るから、新三浦屋で開業をして下さい 安『有難う存じます 四『今日から傳吉をれ前の代りに番頭に直すことゝいたしませう 安『誠に結構でございます 四『傳吉や 傳『へイ 四『安兵衞は今日から樣を退くことになりましたかられ前何うか安兵衞に代つて番頭に成つて下さい 傳『何ういたしまして、私等のやうなもの……』四『イヤ〳〵、さうでないれ前に番頭に成て貰はなければ三浦屋の家が立て行きません、是非番頭に成つて下さい四郎左衛門は何もいはぬれ前に委して置く、口を出すことはしないから、お前の思ふやうにして下さい』といひ渡しました



東京電報

▲日露協約發布

既報の通り日露協約は本日發布されたるが其條項左の如し(十三日)

一、交通の便益を計り商業の増進を期し滿洲に於ける日露線路の改善連絡を計り誤解爭議を除く

二、日清露清の條約協商及び日露條約協商に依り確保せる滿洲の現狀を尊重保全す

三、滿洲の現狀を害する問題に就ては現狀保全に必要方法を協議す

▲韓太子御出發

韓太子は趙武官長高東宮太夫等を隨へさせ今十三日午前八時三十分新橋發列車にて山陰山陽御見學の途に上らせられたり各大臣宮內官其の他文武官民見送り盛んなりき(同上)

▲有吉長官着期

有吉總務長官は郷里京都に立寄り來二十日夜京城に到着すべし(同上)

▲トンネル崩壞

昨夜中央東線鳥澤猿橋間のトンネル崩壞し大岩石落下し來りて折柄通過せる機關車客車押潰ぶされ機關手、車掌始め乘客十二名重輕傷を負ひ即死者三名に及びたり(同上)

雜報

千歲艦長以下謁見

山縣副統監は十四日午前十時半仁川入港中の練習艦千歲艦長以下左記十四氏を帶同韓皇に謁見敬意を表する由

釜尾大佐、櫻井中佐、高木機關少佐、中島軍醫少佐、氷谷大尉、米村大尉、神崎、岸田兩機關大尉、和田大尉、芹澤大主計、藤井大尉、井上大尉、岡本機關大尉、岡宮大尉、

統監邸の午餐會

山縣副統監は既報の如く十三日午後一時より憲兵司令部並に警務總監部の高等官を統監官邸に招待し午餐會を開け席上山縣副統監の挨拶明石司令官の答辭ありたり出席者氏名左の如し

石塚參與官、明石憲兵司令官、石井少將、國分參與官、具警務官、山形、隈部、杉村、吉弘、藥師川の各憲兵中佐、塩澤、服部、前田、笠、寺平、櫻井の各少佐、永谷警視、中野警務官、玄丹警視、太田大尉、松村中尉、藤波通譯官

志士追贈の反影

曩に韓廷は故金玉均、金宏集、洪英植、魚允中の諸國士に對し榮位を追贈し致祭の典を執行せしめたるが以上の諸國士は孰れも廟堂に立ちて國運振興の計を畫したるも不幸時勢の容るゝ處とならず遂に兇徒の毒刄に斃るゝに到れり然るに時代の趨向は志士の功業を永遠に埋沒せしめず今回此恩典に接したるが今其反響如何を覗ふに頑迷なる兩班若くは儒生等の多くは之を目して枉法亂律の詮議なしと唱ね彼是批議するものあるが如きも多數の韓民は一般に之を歡迎し居れり而して總理李完用氏の之を奏請せる手腕は今更ながら讃嘆に値すとて痛く人氣を惹けるものゝ如く同時に此盛典は人心を新にし其影響する處頗る甚大なりといふ

●隆熙號損害の責任

去月三十日午前二時頃蔚山附近に於て座礁したる隆熙號の損害責任は何人が之を負擔するかに就て關係者たる度支部及び同船借受人吉田秀二郎氏並に東京海上保險會社等は目下頻りに調査中なるが船價は六萬三千圓として度支部より吉田氏に對し契約したるものなり保險金は四万八千圓を吉田氏より東京海上保險會社に附しありて保險金約三千五百圓は既に支拂ひありて船體は目下座礁の儘にて放擲しあることなるが度支部側より云へば此座礁たる不可抗力と云ふこと能はざる故借受人たる吉田氏より當然始末を爲すべきものと決定し居れるが如く吉田氏の方は之れを引卸ろしたる上修繕する時は非常の費用を要するに付寧ろ委棄したる上にて保險會社より保險金を得て度支部へは契約面に基き十箇年賦を以て償却するを利益なりとするもの如し然るに一方保險會社に於ては該船體の委棄を果して承諾するや否やは疑問にして最初保險締約の際に於て爲したる條項の如何にも依ることなるが其契約書は目下大阪なる吉田氏の店舗に有り何れ近く解決すべきも隨分面倒なる問題なりと

●定員外の吏員陶汰

韓政府各部の組織に就ては批議すべき點尠からず就中機關の重複及之に伴ふ冗員の箇々然たる殆んど一驚を喫する程なり而して各部は曩に統監府の照會に基き現員現給表を調製して之を新任山縣副統監に提出せるが山縣副統監は先づ茲に着目せられ殊に官制上の定員に照らして定員外吏員の多きに驚き居れる由則ち定員外の吏員の名稱は凡て囑托又は雇員なるが其茲に到れるは必ずしも處務上の必要に促がされたるに非ずして情實纏綿の結果なれば近く刷新せらるべし此弊最も甚敷は宮內府度支部之に次ぐを學部なりと云ふ

●水町財務官歡迎會

歐洲より歸朝の途次一昨十二日午後五時筑後川丸にて仁川に來着したる水町財務官は同夜宮木稅關長主催の晩餐會席上にて座談として語りて曰く昨今諸外國人の旅韓及び韓國を研究視察せんと熱望するもの夥しく隨つて安奉線の開通と相俟つて大連仁川間の航路は愈々密接の關係を彌が上にも深からしめ諸外國人の來仁するもの日に多きを加ふべきは確信する處なると共に濠洲の設備を完全にするの要あり云々斯くて氏は同夜終列車にて出迎の鈴木稅關局長等と共に入京せり

●明石司令官の招宴

明石憲兵司令官は十二日午後七時より大久保軍司令官山縣副統監石塚參與官國分參與官宇佐川總裁榊原參謀長渡邊法院長國分檢事長池田管理局長儀宇佐美內次官並に各憲兵隊長司令部山形中佐村井大尉石黑中尉其の他各將校警務總監部の各課長官房長各警視約八十餘名を京城ホテルに招待し晩餐會を開け席上明石司令官の挨拶に大久保軍司令官の答辭あり撤宴後別席にて書家渡邊島城道人の席上揮毫あり午後十時散會せりと

●地方行政區劃整理

各道の地方行政區劃は郡面に別たれ更に面の下に洞里の名稱あるが此區劃は頗る亂雜にして甚しきは漠然之を識別し難きものあり故に內部にては面以上の整理は同部之を行ひ洞里に就ては道に於て之を行はしむる事とせるが慶尙南道管內は全部既に終了して此頃其報告到達せりと何ほ各道にても着々調查中なれば追々報告あるべき筈なるが該整理は土地調査の進行上最も要急なるを以て各道とも之を急ぎ居れる由

●山縣副統監の巡視

山縣副統監は十三日午前十時石井少將を伴ひて農商工部に赴き木內次官の迎導にて各局課を觀察し夫れより次官の周に於て精細に事務成績を閱覽し一々事項を指摘し質問を試み午前十一時五十分退出せり

●佛國々祭日と祝賀

十四日は佛蘭西共和國々祭日に相當するを以て在京城同國總領事代理モーリス、パイヤール氏は在貞洞同國總領事館に於て午前十時半より十二時迄の間に於て內外文武官民の祝賀を受くる由

●大久保大將晩餐會

大久保軍司令官は前項記載の鈴木大佐の爲めに司令官々邸に於て十三日夜晩餐會を開かれし筈陪賓は明石憲兵司令官市川第二師團參謀長等にして主人側よりは榊原軍參謀長森田軍醫監他幕僚

●郡主事の配置終る

曩に內部より各道へ派遣したる郡主事は一旦所屬道に赴き事務の打合を爲さしめ各道に於て適宜配置を爲す筈なるが既に之を終了して內務部長の訓示を受け夫れ〜任地に就きたりと

●光濟號の大連行き

仁川に碇泊中の光濟號は昨十二日大連に向け出港せり其の要件は無線電信に關する要務を帶びて來韓せんとする木村海軍技師を迎へんが爲めなりと

●兩宮の三氏下賜品

韓皇並に太皇帝は岡前內部次官、若林前警視總監、松井前警務局長に對し夫れ〜御下賜品ありたりと

●統監迎接員の派遣

韓國政府よりは第三世統監寺內子爵の赴任出迎の爲め代表者を馬關迄で派遣の議あり多分日語の通せる趙農相に決定すべしと

●各部の司令官招待

韓政府各部次官は十三日午後七時より明石憲兵司令官及各道警務部長を擲翠樓に招待し主人側として各局課長も列席せり

●候補生の王城見物

帝國軍艦千歲乘組候補生七十餘名は十三日午前入京景福宮、昌德宮秘苑博物館等を參觀せり

●農商工部官吏昇級

農商工部奏任官十餘名、判任官三十餘名は今回定期昇級したりと

●龍山民長送別會　龍山在住民會議員、役場吏員、其他有志者は十二日夜前龍山民長大久保到、同會計役古市喜太郎兩氏の爲め和歌の家に送別宴を開く

●木下技師の歸任　隆熙號坐礁の爲め之が調査の任務を帶び蔚山出張中なりし關稅局技師木下重松氏十二日歸任

●登田軍醫正着任　新駐韓憲兵司令部附三等軍醫正登田狹槌氏十三日着任

關釜連絡設備計畫

安奉線開通後は日本對歐洲の交通上一新紀元を畫すべく其れに付けても釜山下關間連絡設備は一日も急いで完成するの必要ありこれに就き當局の計畫を聞くに先づ棧橋設備に於ては前年來着手中なる釜山は來年四五月頃完成する筈なるも下關に在つては今尚計畫中にあり而も例の海面突出式は軍事當局者の爲めに否認せられたる結果港灣調査會の意向は陸地掘鑿式と決定したる樣子なるが斯くては土地の買收に多額の費用を要し鐵道院目下の經濟上到底着手し難きにより院議は略陸地に沿ひつゝ棧橋を横附けに架設して其處まで軌道を引込むべく內定し居るもの如し而して右は固より應急の彌縫策なれば經濟の餘裕あるに乘じて追々陸地掘鑿式に着手する事となるべし而も此假棧橋に要する工事費は軌道費取り混ぜて百萬圓にも上らんかとの事なるがそれよりも更らに費用を要すべきは連絡船の設備なりとす現在に於て連絡用に供しつゝあるものは壹岐、對馬、薩摩、會下山の四隻なるも壹岐、對馬の兩船を除いては孰れも借入船に係り老朽にして現今に於てすら辛うして連絡任務に服し居る有樣なれば勢ひ新船建造の必要あるのみならず安奉線開通は旅客激增を豫期せらるゝ以上現在よりも一ヨリ大なる船舶を建造する要あり之に關する鐵道院の計畫は二千五百噸內外のもの二隻を建造すべく目下目論見中の樣子なるが假りに一噸三百萬圓の建造費とすれば二隻にて約百五十萬圓の費用を要す之に棧橋費其他の設備費を加ふる以上關釜設備費としては差當り三百萬圓を投せざるべからず而して鐵道院に在つては是等凡ての計畫を明後年初春の安奉線開通期迄に完成する方針なれば此等の計畫が本年度豫算に計上せらるゝは疑ひなきが如し

●有望なる漢江流域

漢江流域中舟楫を通ずべきは上流江原道寧越を限り龍山より航程約四十里を超へたり而して此水路を利し沿岸各地物資の出入は實に偉大なる額に上れり最近同沿岸を視察されたる某實業家の談に據れば同流域により寧越及龍山間を上下する貨物船は一年間四千隻の多きに上り一船約二百石の搭載量を有せるが遡航の集散地は纛島及漢江にして麻浦は主に下航の津港より遡航齎す處の貨物中主なる物は鹽にして他石油マッチ衣服地及諸種雜貨なるが取引は大概現品交換にして大豆を初め小豆他齊豆及京畿道に屬する沿岸所產の米穀等にして其一年間の(單に纛島寧越間のみとするも)貿易額は非常の巨額に上れり然しながら爾く舟楫の上下繁るが如き盛況なるにも背ず水路は古來天然に任じて人工を加へず爲に瀨灘舟を行るに便ならざる他二十餘箇所に岩礁横り時に舟を破るの危險あり其一年間の被害幾千に上るべきやは統計なき今日に於て詳にし難きも其額決して輕微ならざるべし要するに同岩礁の排除は理想的によるとすれば巨万の工費を要すべけんも現狀を標準とすれば無慮二萬圓を投ずれば事足るべし行通機關の開發は現政府唯一の政策なり併し今日にありては單に陸上に止り其澤未だ水路に及ばず遺憾の事なり云々と

十八銀行支店成績

資本金三百萬圓
積立金及繰越金九十五万圓
上半期純益金六千五百十二圓七十九錢
支店長　清水文之輔
副支配人　中西喜久男

中西氏曰く商況不振金融緩漫なる語は兩三年來日韓經濟界に共通せる慣用語となれり、爲めに金利は滔々として低落し其底止するところを知らず、反之營業費は年一年に增進の傾向を爲し、何等の特權も特殊の利益も特別の保護をも有せざる當行の如きは營業甚だ困難で只一生懸命勉強するの外あらず、金利の如き勉強の積にて既に多きは七厘少なきも參四厘方を引下げたり、さりとて格斷なる資金の需用もあらず、乍併一般に日韓人經濟思想の發達は金融機關利用の進步を促はし、其間當店は出來得る限り公衆の利便に留意し、薄利を厭はず商業資金の融通に勉めたり、故に幸にも漸次營業分量の增進を來たし爲めに本上半期の成蹟は例年同期に比して遜色なきを得たり、今試みに過去三ヶ年間上半期の總勘定出入の積數を擧ぐれば如下、四十一年四千九百萬圓、四十二年五千六百萬圓、四十三年七千二百萬圓。

手形交換高銀行別

四十三年七月一日より九日迄の當地各銀行其他の手形交換高左の如し

銀行		枚數	金額	差引殘高
▲韓國銀行	▲借方	三四	一三七、六〇、一八	二四、六四一、三
	▲貸方	一八二	一五三、二九〇、六四	四九、一〇一、八〇
▲第一銀行京城支店	▲借方	四六〇	一六六、六九、三七	三、五三二、一五
	▲貸方	六六五	一四〇、六二〇、一九	七七、五四、〇七
▲百三十京城支店	▲借方	五四二	一九六、六四五、一七	一〇四〇、六八、五二
	▲貸方	六五〇	一四〇、〇三七、三一	四八、四六〇、二六
▲十八銀行京城支店	▲借方	二六二	九〇、三二六、七二	三九、七二〇、九九
	▲貸方	四四二	九〇、一四八、二四	三九、五五二、四八
▲漢湖農工銀行	▲借方	一二	五二、八三〇、五二	三九、九四二、三五
	▲貸方	八九	二一、九二三、一六	……
▲大韓天一銀行	▲借方	二九六	五九、一九九、一四	一六、〇四四、一〇
	▲貸方	四四	九九、〇三八、五六	五六、八二三、五三
▲韓一銀行	▲借方	七六	一五、二三三、三八	九、二二四、四四
	▲貸方	四五	七、〇五九、八二	一、一〇〇、八九
▲漢城銀行	▲借方	一四	三、八二五、〇六	一八、一七〇、二五
	▲貸方	四四	一六、四八八、六一	二、八〇三、八〇
▲京城郵便局	▲借方	二〇七	二、九〇六、一〇	二二、八二
	▲貸方	七	二、六八四、二九	……
	(借方合計)	二、六一七	七六六、二六九、〇四	二七四、七六、八五
	(貸方合計)	二、六一七	七六六、二六九、〇四	二七四、七六、八五
	(借方一日平均)	三二七	九五、七八三、六三	三四、三四、六〇
	(貸方一日平均)	三二七	九五、七八三、六三	三四、三四、六〇

●韓國の家畜數比較

韓國農家の總數は二百二十一萬千百三十七戶にして此飼養牛數六十三萬二千七百八十九頭即ち農家十戶に對し平均二頭八分五厘にて最も平均率の多きは咸北道の十戶に對する八頭六分尤も少なきは全北の一頭一歩なり又馬の總數は三萬五千九百六十五頭豚五十七万六千四百二十八頭にて毎十戶二頭六分に相當し雞は二百四十六万千四百二十四羽にて毎一戶一羽一厘强を有し尚驢馬六千八百頭騾馬五百七十四頭山羊五千七百八十八頭を飼養す若し之を耕地の面積に配當する時は總面積百八十萬六千三百二十九町にして耕地百町步に三十五頭三厘の割にて日本の耕地百町步に十八頭六步の割なるに比すれば十七頭四分三厘の增率に當れり而して其平均率の最も多きは江原道の毎百町步百六十三頭五分四厘最少なるは全北の九頭六分四厘なりとす

●貨幣流通高の增加

昨年末以來貨幣發行高は之を前年に比すれば非常の增加にして常に一千三百萬圓臺を拔きつゝあり隨て市中に於ける貨幣の流通高も增加し居れるが此原因は近來經濟界の順調に聯れ米穀の賣行も捗々しく旁以て斯る好現象を呈するに至りしものにて昨年六月末に於ては市中の流通總高九百二十四萬圓なりしが本年は千二百五十九萬圓なり而して本年一月より六月迄の狀況を昨年の同季に比すれば其增加額一月三百八十万圓二月四百九十圓三月四百三十萬圓四月四百二十萬圓五月三百十萬圓六月三百三十万圓なりと

●交換證書種類別表

京城手形交換所の交換證書種類別如左

證書種類	枚數	金額
小切手	一、八五五	五三八、〇六一、一三
送金爲替手形	八二	一六四、二三一、五三
約束手形	三	五、四三一、一六
仕拂命令	四六	八六、八二六、六〇
出給命令		
郵便爲替證書	二〇七	二、九〇六、一〇
雜證票	一四	一六、八〇九、一四
合計	二、六一七	七六六、二六九、〇四
一日平均高	三二七	九五、七八三、六三

●馬山線の荷物運搬

馬山線の浸水減退し軌條水面に露れたるも復舊工事に兩三日を要すべく其間荷客は手押トロックにて接續輸送す由

●若林知事の赴任期

事務引繼の爲め來京中なりし若林前警視總監は來る十五日午前九時南大門發直路奈良縣へ赴任すべしと

●水町財務官の入京

大藏省財務官水町袈裟六氏一昨十二日午後八時天眞樓に投宿したり

●荒井次官の出發期

東上中なる荒井度支部次官は來る十七日東京出發歸任の途に就くといふ

●鈴木騎兵大佐着龍

參謀本部課長鈴木騎兵大佐は北韓の視察を了へ十二日夜龍山に到着せり

●佐々木部長の出發

土地調査局部長佐々木藤太郎氏は東上中なりしが十二日東京を出發したりと

千歲入港彙報

▲理事官訪問　橋本仁川理事官代理は一昨日午後六時艦の入港を待ちて和田觀測所長岩崎民長と共に訪問したり

▲艦長の入京　釜艦長及候補生は昨日午前八時五分發列車にて入京したり

▲官民招待會　仁川官民約四五十名は來る十五日午後七時より同艦將校を入船樓に招待して晩餐會を開くよしにて艦より釜艦長以下十四名出席すべしと

▲理事官午餐會　橋本理事官代理は十五日艦長副艦長主計長軍醫長等を八坂樓に招待し午餐會を開く筈

▲候補生に寄贈　仁川民團にては候補生六十六名に對し金口其他各種の巻煙を寄贈する由

▲出港の期日　同艦は來る十六日佐世保へ向け出港の筈なり

▲京城手形交換高▼

七月	金高	枚數
十三日	四一、七〇七、四五	三三三

▲治外法權▼

警備機關統一の結果として地方警務部長は全部憲兵隊長がやることになつた、サテ組織はソレで良いとしたところで果して軍人中に警察の仕事の出來る適任者があるかドウかと云ふ事は我も人も疑問にした▲トコロが今度地方警務部長の任に當る憲兵隊長等が乘込んだ、彼等は現在我憲兵佐官中の俊髦で、本職に就いては勿論行政、法律、經濟等に就いても相應の心得があるソウだ、上に將軍明石あり、下に如斯部長あり、警務の事當分心配なしか▲統監府が出來て僅か五年、此短かい年月間に創しめから伊藤にツイて來た役人共で現存殘つて居る者は寔に少なくなつた、殘るも逃出すも本人の勝手と云へば勝手だ、併し目鼻の附く迄辛抱が出來ずに逃出した連中は薄志弱行の徒輩だ▲前警務局長の松井は伊院驛に暴徒が襲來して驛舍に放火したのを知らずに居て、翌朝ポンヤリと總務長官室を訪ひ昨夜は京釜線に火事がありましたと報告して石塚に叱られた男だ、此男が退官するに就いて一万圓近くの金を貰つて歸つたと云ハナサテ朝鮮は良い處だ▲米國の某新聞は統監府が年々一萬圓の寄附を韓人基督教青年會へ出すことゝ、渡邊高等法院長が基督教信者であると云ふことを大へん賞讚して居る、モー一ト牛島の耶蘇學校が韓政府から公認されて居る事を世界中の政府が曾て宣教師に與へた恩惠中の随一の者だと賞讚して居る、宗教學校の公認、之は成程世界中に無い事だ▲此頃市中に下痢患者の多いのはサイダーやラムネに不正品のある爲だ、當局は公衆衛生の爲にナゼ檢擧せぬか▲東京に百六十九人の女と見合をして最後の美人と結婚した男がある、出雲の神もコンマケをしたらう▲國友七郎が横濱市長の候補になつた外國語の出來ぬ較には同市長は不向ダロウ。

●全北水害後の農作

全羅北道管內は客月中旬より連度の豪雨ありし爲め全部殆ど移植を了りし筈なりしが本月一二日の豪雨ありて堤堰の缺潰するの箇所多く爲め畓田の被害甚しかりしが其後天候回復の爲め一般農作には格別の差減なかるべしと云ふ

●慶南浦地方の虫害

慶南浦警察署管內江西郡各面に蝗と稱する害虫果畑に發生し爲めに同郡水川に於て被害甚だしく農民等は憂慮し目下之れが驅除方法を講じ居れりと

▲熊井駒之助(福岡縣港務醫官)　十二日平壤より入京山本旅館へ投宿

▲宮川宇三郎(憲兵中尉)　十二日海州へ向け出發

▲須田熊一(憲兵中尉)　十二日釜山へ

左之通り辭令あり

●敍任辭令

任道書記官敍奏任官三等　內部編輯官兼書記官
免本官專任警視敍奏任官三等　暮明
同　農商工部技師　庵原文一
同　勸業模範場技師　宮原忠正
同　向坂幾三郎
同　淺原義雄
同　梅田增穗
陸叙奏任官三等
任大韓醫院醫官敍奏任官三等　宇野功一

●全北水害後の農作 全羅北道管内は客月中旬より連日の霖雨[illegible]一般農作には格に於て被害甚だしく農民等は憂慮し目下之れが驅除法を講じ居れりと

●[illegible]方の虫害 [illegible]郡各面に螟虫と稱[illegible]發生し同郡水川

思ふ人を見る法

時に思ふ人を見る法 [illegible]

此奴不埒なる後

頭葉とは吾々の腦髓の中の一部であ[illegible]其所で此の後頭葉は決して忘れない[illegible]顔を思出さうとする事が出來る、此れは後[illegible]に應じて保存して居るのだ[illegible]と突き出す[illegible]其の人が決して[illegible]つて見た或るものを自分勝手に「一」[illegible]

此を御覧になつては如何

[illegible]持ち出され[illegible]た御當人は忘すれて居るから吃驚仰天

意地も外見もなく甚だしい醜態を演ずる

のであるが此奴を甘く練習ると何時でも聞い所へ入つて眼を刮と瞬きながら見やうと思ふものを好き自由に見得る事が出來る、サア然うなると海山千里を隔てゝ居て思ふた方を思ふた時に思ふさま見らるゝ、左樣して更らに過ぎし逢ふ夜の睦言を思ひ出して巫山戯ることも出來るので ある(むの字)

富士川を下つた

着いたのがト[illegible]時元來此の松野と[illegible]村では[illegible]るが街[illegible]つて旅宿と云ふ如[illegible]のだ、で

宗の寺の名は忘れたが

(何でも[illegible]寺と云ふ高地上に[illegible]る)其所を訪れて日く男ばかりの寺[illegible]る方が御馳走があ[illegible]の雑貨屋に案内し[illegible]至極結構なりと勇

日蓮

薄暗い中に便所

に辿る行方の[illegible]しく便を催したの[illegible]け出る程白い長い[illegible]に身を凭せて何や[illegible]スッキリ立つてる[illegible]い者を見た哩彼の[illegible]が故に親切でがし[illegible]のだナと可笑しさ半[illegible]顔を見ない如に俯面

女が何にも云はず雨の腕を投げ

私の肩へ

紫房の付いた紐が一本

目鼻

韓皇近時の御動靜

▽日の暮るゝを待侘玉ふ

炎暑の候に向へる今日此頃韓皇の御近狀如何あらせらるゝかと承るに健康は彌が上にも勝れさせられ定めの日課は嘗て缺かせられたる事なく先づ朝は必ず八時には起床遊ばされ直ちに含嗽を濟ませ九時朝餐を召されて後大造殿に出御ましまし日々幾件となく奏上し來る政務を一々御裁可の上侍臣を罷きて御暫を賜はり彼是する内に午鐘の音響くや午餐の御食堂に就き玉ひ侍從[illegible]取圍まれながら

庭園

を緩ひ歩せ夫れより召換[illegible]餐の爲或は小鳥抔

御散歩

に二時間せられ午後四時頃[illegible]午後七時晩餐を了[illegible]に入らせらるゝが[illegible]るゝ侍べり奉り[illegible]の樂みとせられて[illegible]事を言上し韓皇に

待遠しく思

[illegible]韓皇には屢々諧謔を[illegible]が如く侍臣等爲めに[illegible]は何時も夏候春の如

控訴院の無罪宣告

御聽明の程承るだに畏し

▽被告八判事を泣拜す

如上の事實に依り十二日終決の公判開廷あり證據調を終り深澤檢事が有罪の論告を爲したるに對し木尾田中兩辯護



女振り

青木清六氏夫人 青木しづ子

青木清六君は龍山青木醫院主で熊本縣天草郡久留村に明治九年十二月を以て生れた、醫學專門學校卒業後東京に出て前後期の試驗を受けて免狀を取つた、間もなく仙臺の公立病院に招聘せられたのである、夫人靜子は熊本市内坪井町に明治九年三月を以て生れた、清六君より殆んど一歳長じて居る、龍山には鐵の草鞋を穿いて妻君を探した方が多いと見ゐる、閑話休題、靜子夫人は同市尚絅女學校を卒業すると同時に何んとやら云ふ耶蘇學校の教員となつた當時生徒と云つたら只の四人だつた相だが在勤二年にして市立高等小學校の教員に成つた青木君と結婚せられたのは此の時の事である、三十九年初めて清六君が永登浦に於て開業した時も夫人は同地の小學校に教鞭を執つて居たのである、夫婦の交情の睦しさは夫れはく、此れはくと斗りで御座る、と申したとて決して小生夫れに不服が御座る譯では御座らぬ所が猛烈に歡迎し且つ敬意を表するものである、夫は折花攀柳の痴態を公演し、婦は暮夜柳絮を分けて誰そや行燈の覺束なく光る門を潛りても他も怪まねば自らも耻ぢぬが多かるは一に夫婦間の愛情の缺乏から來るものであるからである、夫人は料理が最も得意で且つ奇麗好きである、長男に陽象(九つ)長女にちか子(七つ)二男は先年病死し三男に清象(二つ)と云ふれ三人の坊ちやん孃ちやんがある、而して目下姙娠七ヶ月、更らにく前途は有望である、夫人の實父は同棲せられて居る、れ名を西村直と仰云る。

譯の誤解より惹起したる事なるも此は判官の認定に依らざれば致し方なきが辯護人は全然詐欺取財は構成せざるものと思料すと明白に辯明し又贓物故買に付遮んに民法第二百四十六條を関するに他人の動產に工作を加へたる者あるときは其加工物の所有權は材料の所有者に屬す但工作に因りて生じたる價格が著しく材料の價格に超ゆるときは加工者其の物の所有權を取得すとあり依て木炭を製して之を遠巨離に運搬する等巨額の貨用を投じて加工し市場價格に著しき增加を與へたる場合は木炭の所有權は生木の所有者に非ずして加工者に歸屬す即ち吉田太吉は其加工者として正當適法に歸屬したる木炭を買入れたるものなれば贓物の故買に非らず又當時韓國にて森林法發布後日尚は淺く官有民有の區別判明せず故を以て當局者も總の森林を悉く皆官有林と看做森林より製炭したる木炭を贓品とし處分するときは市場にある木炭は全部沒收せらるゝ事となり嚴寒なる時候に於ける一般人民の生活並に經濟狀態に多大の影響困難を及ぼす事を慮り適宜の政策を執りたる結果一般の購買者も官民有不明の森林より製炭せられたる木炭は是贓品に非ずして正當なりとの觀念を有し當時の官憲も等しく之を公認せるものなれば被告吉田が其木炭を主觀的に正當と信じ購買したるは當然の事にして毫も怪しむに足らず故を以て該木炭は假りに之を贓品なりとするも吉田は犯意なくして之を購買したる者なれば犯罪を構成すべき謂れなしと云々と論結し辯論終決後十二日午前裁判長は被告吉田太吉に對する事件は第一審判決を取消し無罪とすとの宣告あるや被告吉田は涙を流し裁判官を數回跪拜し又辯護士にも御蔭げでと數回叩頭したりとは然もあるべし(終)

士も交々立ちて其の無罪を主張せしが木尾辯護士辯論の大要を聞くに本件の被告吉田は以前羅南に於て某新聞記者として在職中に警察官等の非行を筆誅せし事あれば多少官憲其他民間にも憎みを受け居りし者なれば第一審に於て或る點に付不利益なる認定を受けたるも無理ならぬ事なり然れども本件は通

辻本刑事の罪狀

顯れたる ▽豫審終決公判に附せらる

三重縣阿山郡阿波村千七百三十九番地平民當時永樂町二丁目辻本茂左衛門(三九)が元銅峴分署刑事巡査在職中の非行露顯し瀆職罪として京城地方裁判所檢事局に拘引せられたる事は當時報導せしが彼が刑事の職權を濫用して如何に良民を苦しめたるかは今般終決したる豫審事件に見るべし即ち永樂町二丁目内田商會内岡本千尋が昨年十二月五日衣類三點を窃取せられたる事件に付加害嫌疑者として本年四月十二日午後二時頃龍山祝町高平乙松方同居坂本いせ(四四)を銅峴分署に同行し署内訊問所に於て取調を爲すに際し强いて罪狀を自由せしめんが爲め同所にあり!苧繩及び棍棒を以ていせの頭部顏面腰部等

馬賊大連市中に現はる

▽未だ更けやらぬ午後十時

去る八日午後十時大連市浪花町に六名より成る馬賊の一隊現はれ

商 兩替店慶發福の店を襲ひ 七百

支那

餘圓の正貨を掠奪し闇に紛れて逃走せる椿事あり しが彼等が遺失したる

質札が屈强の手掛となりて其

後續々縛に就つゝあるが 日本

市街にかゝる大椿事ありとは眞に驚くの外なしといふべし

を亂打し左右眼窩部に皮下溢血を生じ打撲創傷を負せたり其他明治四十一年六月二十三日仁川寺町二丁目西郷旅館に宿泊中盤て主人中山宗衛より借用し居りたる浴衣一枚白縮緬兵兒帶一筋(代七圓)を橫領、入質し之を費消し又仁川桃山町吉水善介より借用したる糸織單羽織一枚(代四圓)を同入質したる等にして瀆職罪並に橫領罪として京城地方裁判所公判に附せられたるが之れ實に天罰と云ふ可し

南山の縊死未遂

▽人力車夫の奸手段

山口縣熊毛郡周防村中原千代吉四女きよ(一七)と云ふは緒方某なるものに釜山郵便局交換手に世話すべしと欺かれ同道渡韓したるも右は悉皆虛言にて遂に京城に同道せられたるに緒方某は伊藤組の人力車夫にして同人の爲め脅迫せられ同棲せしも其の虐待に堪へ兼ね十二日夜南山に縊死の目的を以て潛行中巡回の巡査に認められ本署へ連行取調べの結果前記の事實判明せるより緒方を呼び出し將來嚴戒の上一先づ同人に引き渡されたりと云ふ

●殘金三十四圓也 熊本縣宇土郡郷浦村二千三百八十九番地平民當時住所不定ペンキ塗職山下慶次郎なる者は本年三月春川より來り御成町一丁目宿屋尾張屋に止宿し七月十日迄の宿料五十圓の内十四圓を支拂ひ殘金は或所の事業を請負居るに付成功の上支拂ふ可き旨申し此の頃外出の儘歸家せざるより主人熊澤利左衛門は西部署に告訴提起せし由なるが事業の有無が疑問也

●門戸開放の行水 仁川仲町一丁目居住の大和組沖仕某の妻トク(三五)は人目もあらうに一昨日の午後六時頃街路に面せる場所にて行水を爲しつゝあるにぞ通行人中の自然主義者をして歩を止めしめ居たるが警官折惡しく通り合せ嚴しく説諭したりと

●其長所を惡用す 仁川寺町二丁目田中吉太郎方同居の新潟縣生れ皆川久米次郎(二九)は自己の法律に素養あるを惡用して虛僞の借用證書を作成し詐欺取財を犯したる事實發覺し一昨日仁川署に拘引されしが詳細は後報

●韓童强盗を逐ふ 南部上墨洞(大和町三丁目)十三統十一戸鄭召史方に一昨十二日午後十二時頃二十四五歳位の韓人忍び入り金を出せ出さぬと殺すと脅迫せしに十一歳になる韓童眼を醒し泥棒と大聲を揚げたるに驚き一物を得ずして逃走せりと

●死馬の肉を賣る 北部嘉會坊齋洞三十一統三戸李奥順(五九)朴順元(五九)兩人共謀して死馬の皮を剝ぎ肉を他に販賣したる事北部署の探知する所となり引致の上目下取調中なりと

●有益大根種子分與 該種は土地の寒暖を問はず能く繁茂し以て其大なる者は長サ四尺餘太サ三尺五寸以

▲常陸山と猫の皮 東京の好角家某氏が目下滿洲巡業中の力士連から自宅に何か珍物でも送つて來たかと先づ常陸山方を訪ひて細君に質したら何に壯健であるとの端書ばかりです新聞には相變らず遊んでゐる樣に出て居ますが遊べるやうなら結構だと思ひます豹の皮や何か頂戴したとありますが何に一ッ送つては來ませんよと云ふ傍に居た某は豹の皮は今に澤山來るかも知れぬが各地で買ひ込んだ猫の皮はた土産にはせまいと云ふと細君も土產にされては大變ですと大笑ひ

上目方十貫目位に成育し加ふるに品質佳良實に世界無比なり今回信濃國下高井郡延德村。篠井好農園にては篤農家に暫く分與する由希望者は實費十八錢にて申込めば加ふるに信濃尻丸大根、櫻島、聖護院等四種を六十匁目迄を直に送種すと又蕪種子希望者五種一組十五錢を送られよと同園より申し越したり

●若草町の夜見世 若草町曹洞宗韓國本山にては觀音講を組織しまた日曜毎に提唱を開始したるが附屬き構内の空地に於て毎月十六、七、八の三日間植木盆栽の夜店を開く由なるが若草町にては戸毎に軒燈を揭げ繁榮を援く

目と耳

▲歌舞伎座 大入御禮として木戸場代を特別席を除く外三十錢均一とし[illegible]たる桃中軒如雲十四日の讀み物如左 丸津田越前守忠僕直助の傳前後二席

▲壽座 曾我の家一座十三日番組御祝儀笑ひ種(一場)觀心(五場)憶病武士(二場)ハッピリー(二場)提灯行列(二場)

▲浪花館 同館は前夜の讀み續き宮本左門之助(吉川静奴女)荒尾秀丸(浪花錦明)掛川評定御生朝比奈相生暨中(吉田松葉)筑前職黒田宮童吉(吉川秀奴女)米澤評定金子春太郎(岡本伊之丸)龍久美讀曾我物語(義士本傳通し(吉川秀廣)每夜兩席長講晴雨共開演

今日の運勢

七月十四日 舊六月七日 五黄 赤口 庚辰 納△一白 新事見合せの事 親戚の事係累わり△二黒 物事捗取らぬ日

新事及取引關係に注意すべし婚談圍結組合の事吉△三碧 厄運日なり舊事手控への事盗難水害の恐れあり旅行凶△四綠 新事効なし酒色の害を戒しむ賣買貸借控へ目の事△五黄 新事改易の事凶證劵の故障及盗難防ぐべし△六白快欣の日大抵吉旅行☆商探險改革婚談進んで吉△七赤 旅行入學開店開業進んで吉婚談履入れ幸先好し△八白平穩なり只職務上多少の失錯あらん△九紫 大抵進んで吉婚談緣談依賴諸願其效あり(本町五丁目三一舘判斷)

●天氣豫報(自十三日午後六時至十四日午後六時) 東風曇後晴

十二日(華氏) 最高溫度 八五、五 最低溫度 六七、八

▲須田鬪一(憲兵中尉) 十二日釜山へ向け出發 ●叙任辭令 左之通り辭令あり

任通信書記官叙奏任官二等 内部書記官兼警視 [illegible]

免本官兼任警視叙奏任官三等 [illegible]

農商工部技師 尾原文一
勸業模範場技師 宮原忠正
同 向坂幾三郎
同 [illegible]
同 淺原[illegible]雄
同 梅田增穗

陞叙奏任官三等 任大韓醫院醫官叙奏任官三等 宇野功一

▲熊井駒之助(福岡縣漁業監督官) 十二日不[illegible]より入京山本旅館へ投宿 ▲宮川字三郎(憲兵中尉) 十二日海州

洋傘半襟帯締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番

ゑり徳商店

中元進物と蓄音器

蓄音器の進物も亦妙

朝鮮名技音譜 日本大家音譜 數千種新荷着



京城本町

蓄音器部 辻屋

本店 電話三六六番 支店 電話二四八番 韓國張橋口座八七番

音譜目錄無代進呈 卸賣は特に割引仕候

特別廉價販賣

京城相生町南門通横 (電話一二九四番)

京城梅毒病院

自午前八時 至午後九時

●花柳病專門 附痔疾一般

●入院隨意

院長 醫學得業士 蘆田耕平

來ル七月 十五日(金曜) 十六日(土曜) 十七日(日曜) 三日間 決戰

選手二百點以下

●玉突競技會

●會費金壹圓五拾錢出直シ五拾錢

會費ハ一切現金ノ事

景品目錄

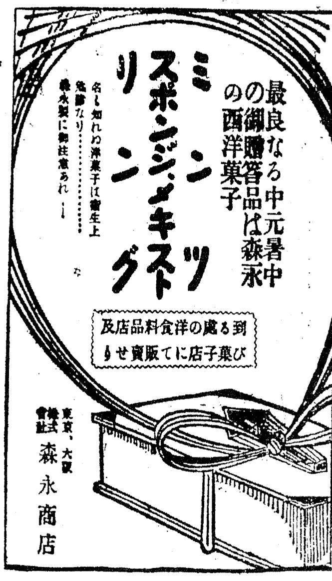
壹等	七十圓也	商品券
貳等	三十五圓	同上
三等	二十圓也	同上
四等	十五圓也	同上
五等	十圓也	同上
六等	三圓	商品券
七等	二圓五十錢	同上
八等	二圓	同上
九等	一圓五十錢	同上
十等	一圓	同上

特別賞 責任拔キ 三圓商品券

但三人拔五回勝一等賞ノ者トス

京城米倉町和樂園隣

好松軒 電話九三七番



特約店

京城本町三丁目 明治屋京城支店

京城本町二丁目 龜屋支店

釜山辨天通二丁目 齋藤第一支店

中元聯合大賣出し

自本月十一日 至同二十日 現金に限り

御買上げの金高に相當する澤山の御添物進呈可仕候

其他見切物並によぜ切に限り添物無之候

呉服商組合

京城本町四丁目 ㊐林呉服店 (電話六五二番)

京城本町五丁目 山枝呉服店 (電話二二四番)

京城本町四丁目 山口呉服店 (電話九番)

京城本町三丁目 圓城呉服店 (電話一五七番)

京城本町二丁目 恵阪呉服店 (電話七二六番)

京城本町四丁目 末永呉服店 (電話六八二番)

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

發託販賣

東京ランパーゾ商會代理店

東京中外アスファルト株式會社代理店

東京千代田生命保險相互會社代理店

東京博文館發行書籍特約店

東京金港堂發行書籍特約店

日韓圖書株式會社發賣元

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 (電話二三〇番)

出張所 京城南大門通一丁目 (電話二九六番)

統監府及諸官衙御用

荷物運搬 引越荷物受負

伊藤組

本町三 南大門驛 大和町二 同第二

電話 四〇番 七三二番 九四八番 一六〇八番

特約販賣 自製

味噌醬油製造元 漬物問屋

京城本町五丁目

ビール 新茶大賣出し

大上商店

(電話二五一番)

奥出洋服店

京城櫻井町五十七番ノ一 (電話一二五五番)

ビヤホール

氷 アイスクリーム

◎登呂呂汁(御麥の御飯)

◎和洋會席御料理(御手輕主義)

旭町一丁目 度支部官舍下隣

松風軒

明治廿六年七月創立 東京火災運送海上保險株式會社

資本金一千萬圓

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

金錢貸借 電話讓渡 土地家屋 老舗賣買 人事百般 其他

周旋業

京城明治町一丁目勸商場前 (電話一二九八)

明治屋

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾五萬圓

京城南大門通 株式會社十八銀行京城支店 (電話四二〇)

本店 長崎市築町

支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

出張所

韓國日本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘)

長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

夏の和樂園

御料理 席貸 高田家

電九三七

不相變御引立之程乞

裁縫割烹教授所

規則書御入用の方は郵便切手二錢御封入之事

京城南山町三丁目三十番

野村さわ (電話一四二〇番)

★株式會社 百三十銀行韓國京城支店

京城本町二丁目十五番地 電話五十八

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山八木、高田、田原本、桜井、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、高崎、秋田、能代、土崎、高崎

北陸道 大聖寺、福井、敦賀、新江、金澤、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取

山陰道 米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、岡山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、富通寺、丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八代、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 台北、台南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、南州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候